

パンフレットがリニューアル



認知症フレンドシップクラブのパンフレットが新しくなりました！現在の活動に即した形でリニューアルしたもので、手軽に手にしていただけるコンパクトサイズになりました。「認知症になっても変わらない暮らしができるまち」を目指した活動のPRにお使いください！

放送大学講義「認知症と生きる」開始



当クラブの井出理事長が主任講師の講義『認知症と生きる』が放送大学にてスタートしました。4月から全15回のテレビ放送では、本人や家族の視点、地域の取り組みも紹介されます。詳しくは放送大学のHPをご確認下さい。

「認知症の女性」が輝くイベント開催！

主催：M's すてーじもあ
共催：認知症フレンドシップクラブ 豊中事務局
日時：5月23日（金）10:30～15:30
場所：大阪市中央区北浜東3-14
会場：エル大阪 7階 708号室
参加費：認知症ご本人無料、ほか500円
申込：HP (<http://ameblo.jp/mstagemore/entry-11999589370.html>) をご確認の上、メールか参加申込書をFAXして下さい

当事者も出演「オレンジコンサート」♪

若年性認知症当事者バンドも登場。出演者、参加者募集中です。
主催：認知症フレンドシップクラブ 奈良事務局
日時：6月21日（日）13:30～15:30
場所：グリーンホール（奈良市中登美ヶ丘3丁目1994-10）
参加費：認知症ご本人無料、ほか200円
申込：HP (<http://dfc.or.jp/news/3075>) をご確認の上、メールか参加申込書をFAXして下さい
問合せ：奈良事務局・小西（090-3966-1267）
Mail：masayan61jp@gmail.com

認知症フレンドリーサミット

主催：認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ
共催：認知症フレンドシップクラブほか
日時：8月～9月頃に開催予定（東京）
※詳細は <http://www.dementia-friendly-japan.jp/> まで。

法人賛助会員募集中

今年度より、個人会員に加え、法人の賛助会員の枠を設定しました。個人だけでなく、団体としてフレンドシップクラブの活動に参加応援いただける法人・グループを募集しています。
法人賛助会員 / 50,000円（年会費）
問い合わせ申し込みなど、詳しくは info@dfc.or.jp までご連絡ください。

推薦図書『旅のことは』



井庭 崇・岡田 誠編著
『旅のことは 認知症とともによりよく生きるヒント』（丸善出版）
認知症フレンドシップクラブのメンバーも協力して出来上がった本が出版されます。様々な人々の体験をもとに抽出した認知症とともによりよく生きるためのヒントが詰まっています。読み物としてだけでなく、認知症と向き合う体験について対話するためのツールとしても活用できます。

フレンドシップカフェ（品川区）

日時：2ヶ月1回・偶数月開催 9:30～11:30
料金：コーヒー450円～
場所：トモチエカフェ（東京都品川区荏原4-3-7）
問合せ：宮崎まで（090-2523-5627）

みちくさカフェ（新潟魚沼）

日時：第3日曜日 14:00～16:00
場所：新潟県十日町市本町4丁目
会場：お花の店「風花」
問合せ：岩田まで（090-6625-8065）
Mail：oceanic103@gmail.com

事務局住所変更

東住吉事務局が移転のため下記へ住所変更しました。「あべの事務局」の新しい住所
〒545-0014 大阪市阿倍野区西田辺町2丁目2番13号
介護のクリエイティブ鶴ヶ丘（担当：谷川）

【お願い】会員の方で、住所を変更された方は、新しいご住所の登録を以下のアドレスまでご連絡ください。メールアドレスの変更もご連絡をお願いします！

NPO法人 認知症フレンドシップクラブ
ホームページ：<http://dfc.or.jp>
E-mail：info@dfc.or.jp
FAX：03-4333-0405



NEWS LETTER

2015年5月発行 No.10

い～よ
e-yo!

NPO法人 認知症フレンドシップクラブ
E-mail：info@dfc.or.jp
FAX:03-4333-0405

まちづくりに向けたビジョンの共有

認知症フレンドシップクラブ理事長 井出 訓

旅人がある町を訪れた時、一人の煉瓦職人がレンガを積み上げているのに出会いました。よく見るとその職人は、ブツブツと何かを呟きながら、怒っているような表情で仕事をしています。旅人が、「あなたは何かをしているのですか？」と聞くと、「見ればわかるさ。レンガを毎日ひたすら積み上げているのさ。そんな答えが返ってきました。旅人がしばらく歩いていると、今度は無表情にレンガを積み上げている職人に会いました。「あなたは何かをしているのですか？」と聞くと、「なにやら壁を作っているらしいよ」と、また黙々とレンガを積み上げ始めました。またしばらく歩いていると、今度はニコニコと楽しそうにレンガを積み上げている職人に会いました。同じように聞いてみると、その職人は嬉しそうに、

「町の人達が集まる教会作りを手伝っています。きっと、町のシンボルとして愛される建物になると思いますよ。」と答えたそうです。

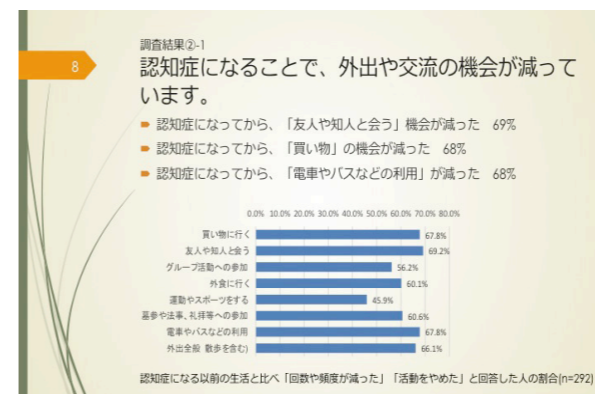
まちづくりの掛け声の下、多くの人々が集い活動を共にすることがあります。認知症フレンドシップクラブも、そうした活動団体の一つです。しかし、活動に参加する一人ひとりが、まちづくりに関してのビジョンを共有していないならば、一人ひとりが参加し成していることを徒勞に感じることも起こります。私たちはビジョンが見えているからこそ、自らの行いに意味を見いだせるからです。

新たな年度が動き出しています。私たちが目指しているまち。そのまちの実現に向けての活動。フレンドシップクラブが描く「認知症の人にやさしい社会」のビジョンをもう一度確認しあいながら、今年度も共感してくださる皆様とともに、目当てをめざした堅固な歩みを進めていきたいと願っています。

「認知症の人にやさしいまちづくり」に関する調査を実施しました

国際大学グローバル・コミュニケーション・センターは、認知症フレンドシップクラブの全国の事務局などの協力の下、認知症の人にやさしいまちづくりに関するアンケート調査（平成26年度厚生労働省老健事業）を実施しました。全国の認知症の方、292人に回答いただき、認知症の人の視点から見えている暮らしにくさや解決へのヒントが明らかになりました。

調査からは、認知症になってから多くの人が、外出や交流の機会が減っていること、またその減少には、環境面での理由があることが明らかになりました。今後、認知症フレンドシップクラブでは、こうした調査結果をもとに、認知症をとりまくまちの環境改善を、関係する組織や企業へと働きかけていきたいと考えています。



調査結果の詳細は、国際大学の認知症プロジェクトのページでご覧になることができます。<http://www.glocom.ac.jp/project/dementia/>
アンケート調査の結果の他、まちづくりの先進地域へのインタビュー調査をまとめた『認知症の人にやさしいまちづくりガイド』や調査事業全体の報告書などもダウンロードできます。

認知症地域ネットワークフォーラム

全国6会場で“まちづくりの今”を語りあいました！

認知度というキーワードでつながった人達が地域ごとに集った「認知度地域ネットワークフォーラム」。2014年のRUN伴経由地6ヶ所で開催され、延べ435名が参加し交流を深めました。

このフォーラムでは、近隣地域の人と認知度についてともに考えることを大切にしました。講演では、認知度の人の声を直接聞き、地域づくりの先駆的者の取り組みを知り、その後、RUN伴を通しての気づきや活動を発表し合いました。その内容を受けて、「この地域で自分たちがいま何をできるのか」を考えたり話し合う時間を設けて、各会場は終了時間を経過しても会話がつきない盛り上がりとなりました。

2015年度も各地で認知症地域ネットワークフォーラムを開催します。ぜひRUN伴と合わせてご参加ください！

フォーラムから見た、まちづくりで大切なこと

- 1、認知症の人の参加
- 2、クロスセクターが出会う（多業種、多世代）
- 3、知識よりも体験から



北海道

講師の「若年性サポートセンターさすなや」、「町田つながりの開」という先駆的な取り組みから、当事者支援を通して地域がつながる方法を知る事ができた。



東北

行政（富士宮市）・企業（富士通研究所）・NPO（当クラブ）の鼎談で、セクターを超えて対話することへの重要性を認識できた。



関東

認知症の人の「サポーターや支援者でなくパートナーであってほしい」という発言から、一緒に考えて行動していきたいと思えるようになった。



中部

富士宮、名古屋、恵那などの「我がまちの取り組み」を情報交換。会場となった焼津も刺激を受け、今後の活動のイメージを膨らませた。



関西

講師の富士宮市の事例から、当事者の声を中心にまちが動くことで地域全体が変わっていく様子を知り、発想の転換となった。



中国

RUN伴参加者の学生が発表し地域の人と意見交換することで、若い世代が地域づくりのメンバーになることへの地元の期待と可能性を実感した。

フォーラム参加者の声 ～アンケートの言葉から～

- ・認知症を理解する講座には参加しても、今回のような当事者の生の声を聞くのは初めてだった。前向きな言葉に感動した。
- ・全く別の職業をしている自分でも、認知症の方々と関わりやつながり、その方々の事を周囲に伝えられる事ができると認識できた。
- ・「認知症」という言葉にとらわれるのではなく、その人を個人として見つめることの大切さを理解した。
- ・RUN伴のように、一つのイベントを通して、いろんな人がつながりを持つ社会になってほしい。
- ・他職種・地域の人、当事者の方と話げできたことで、広い視点で見ることの大切さを感じることができた。

今年のフォーラムの予定

今年のフォーラムは、北海道、東北、関東、中部、北陸、関西、中国、九州の8ブロックにて開催予定。開催時期やプログラムの詳細は、当クラブのHPなどからの情報をご確認ください。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざす人をつなげ、その活動が加速できるよう、今年もアクションをおこして行きます。



このフォーラムは、日本財団の助成を受けて行われています

RUN伴 2015

北見（北海道）～大牟田（福岡）まで3000キロ！

認知症の人とともにタスキをつなぐ列島リレー「RUN伴」。今年は、北海道をスタートし、太平洋や日本海側のルートも通りながら、いよいよ九州・福岡へ上陸します。RUN伴が認知症の人の活躍の場となるよう、今年も多くの方々のご参加ご支援お待ちしております！



RUN伴 TOMO-RROW 2015
KITAMI / Hokkaido to OMUTA / Fukuoka 3000km!

☆☆☆ 今年のRUN伴スケジュール ☆☆☆

北見～帯広～富良野	7月4日（土）・5日（日）
富良野～旭川～札幌	7月11日（土）・12日（日）
札幌～白老～函館	7月18日（土）～20日（月・祝）
青森～盛岡	8月29日（土）～30日（日）
盛岡～一関	9月5日（土）・6日（日）
一関～仙台～福島	9月12日（土）・13日（日）
水戸～東京～御殿場	9月19日（土）～22日（火・祝）
新潟～富山	9月19日（土）～21日（月・祝）
富山～金沢～福井～彦根	9月25日（金）～27日（日）
御殿場～富士宮～焼津～岡崎～名古屋～彦根	9月25日（金）～27日（日）
彦根～京都～奈良、三重～奈良、和歌山～大阪	10月3日（土）・4日（日）
奈良～大阪～兵庫～岡山	10月17日（土）・18日（日）
岡山～尾道～広島～防府	10月23日（金）～25日（日）
下関～福岡～大牟田	10月31日（土）・11月1日（日）

【エントリー受付期間】5月11日～7月11日

※日程や詳しくは、RUN伴専用ホームページをご確認ください！

事務局だより

各地で、まなび、かたり、つどう。

札幌・石狩事務局 「認知症ステップアップ講座」

石狩市と札幌・石狩事務局共同で企画した「認知症サポーターステップアップ講座」を3月3日、10日、17日の3日間で行いました。講習や講義では、認知症の人を中心に行なわれるサポートや地域の取り組みの紹介、家族会や事業所、行政、そして当クラブの活動報告と、グループホームへの現場見学と実習も含めた豊富なプログラムです。参加者からは、「せっかく取得したオレンジリングを役立てたい」「地域で多様な活動をしていることを知り心強い、自分も何か手伝いたい」という声もあり、早速会員になってくださった方もいて、今後の地域活動のメンバーが増えました。



魚沼事務局「カフェ＆ワークショップ」

新潟魚沼事務局は認知症カフェを3つのスタイルで展開中です。十日町市の本町通り商店街にある、お花の店・風花にて、毎月第3日曜日「みちくさ cafe 風花」を風花の馴染み客を対象に実施。南魚沼市では、「塩沢牧之茶屋・だんだん、どうも」を毎月第3日曜日に行政と共同で開催しています。他にも、地元の商店「はりまや」に訪問し、談話スペースで買い物客にむけてカフェを行なうこともあります。また、南魚沼市の介護保険事業所、包括支援センターと介護者交流会と実施したワークショップでの意見をカフェに反映することもできました。それぞれの地域の特徴にあわせたカフェにすることで、地域の方々とのつながりを大切にしています。



富士宮事務局「Dシリーズ」

昨年に続き第2回「全日本認知症ソフトボール大会」が3月7日・8日、富士宮市で行われ、全国から150名を超える参加者が集いました。大会前日には地元富士宮のおもてなしで前夜祭が開かれ、参加者同士の友情が深まりました。昨年の大会参加後、Dシリーズに向けて普段から認知症の人とキャッチボールの練習をしたり、地域でチームを組みバスを貸し切って富士宮までの旅を満喫する所も出てきています。大会当日は、東西チームともにファインプレーが続き、14対11で西日本チームが勝利。選手、参加者達は「来年また、この球場で会おう」と握手を交わしていました。

